ハートハウス成城＋はあと保育園成城

所在地：東京都世田谷区成城三丁目2-9

建築主：社会福祉法人青藍会

# 用途：地域密着型特別養護老人ホーム・保育所(認可保育所60名)

# 設計：アプルデザインワークショップ

# 構造設計：メタストラクチュア

# 設備設計：総合設備計画

# 施工：新日本建設

# 建築面積：427.16

# 延べ床面積：1476.36

構造規模：RC造4階建

# 竣工：2017.6

写真：北嶋俊治

この施設は特別養護老人ホーム\*と認可保育所の複合施設である。人生の初めと終わりは似ていて、いずれも人の世話が要る。核家族化と共稼ぎの増加で家族による幼児や老人の世話が難しくなり、社会が世話を引き受けることになるのは必然としても、そのために子供と老人の接触機会が無くなることは社会の大きな損失である。昨今の日本社会の不寛容の一因がここにあるのかもしれない。本施設の設置者で運営者である青藍会は早くから幼老複合の施設運営が世代間の溝を埋めると試みと着目し、山口県での実績をもとに世田谷区でも展開した。

この建物は緑地を繋げる試みでもある。敷地は、南で国分寺崖線の一部となる豊かな緑地に、北で近隣公園に、接する。また、敷地内も濃い緑で覆われていたので、それらすべてを建設中保存し建設後移植して隣地との間に緑地帯を形成した。このように緑に恵まれた敷地では建築が過剰に表現する必要はなく、矩形のボリュームと率直な間取りがふさわしい。避難路と庇の確保のために四周にバルコニーを巡らせ、これを生垣のような緑化して四段積層している、これだけである。これによって南の緑地と北の近隣公園を繋げ、それを白い室内に呼び込んでいる。ほぼベッドに寝たきりで過ごす特養の入居者にも元気に走り回る保育園児にもこの緑は何よりである。